

## Konstrukce s vytykáacími partikulemi *mo* a *šika* (a *dake*) とりたて 助詞 の「も」と「しか」(と「だけ」)の構文

Forma konstrukcí:

- PV(početní výraz) も ~
- PV しか ~ PRED<sub>NEG</sub>
- NP/V<sub>NPST</sub> しか *aru*<sub>NEG</sub>
- NP だけ ~ PRED
- できるだけ PRED

### 1. Příklady užití vytykáací částice *mo* - význam „extrémnosti“

- 私は十回<sup>じゅうかい</sup>も日本へ行ったことがあります。
- ヤナさんは、百冊<sup>ひゃくさつ</sup>も日本の小説<sup>しょうせつ</sup>を持<sup>も</sup>っています。
- 10年<sup>じゅうねん</sup>も日本語を勉強しているんですが、全然<sup>ぜんぜん</sup>上手<sup>じょうず</sup>ではありません。
- 土曜日は10時間<sup>じゅうじかん</sup>も寝<sup>ね</sup>ました。
- メアリーさんは5匹<sup>ひき</sup>も猫<sup>ねこ</sup>を飼<sup>か</sup>っています。
- メアリーさんは猫を5匹<sup>ひき</sup>も飼<sup>か</sup>っています。
- メアリーさんは5匹<sup>ひき</sup>の猫も飼<sup>か</sup>っています。
- 木村<sup>きむら</sup>さんは毎月<sup>毎月</sup>20冊<sup>にじゅうさつ</sup>も本を読むと言<sup>い</sup>っていました。
- 昨日、友達<sup>かいてん</sup>と回転<sup>ずし</sup>寿司を食べ<sup>た</sup>に行<sup>い</sup>ったんだけど、その友達<sup>よんじゆうさ</sup>はなんと40皿<sup>よんじゆうさ</sup>も食べたんだよ。
- 今年<sup>ことし</sup>は5回<sup>ごかい</sup>も台風<sup>たいふう</sup>が上陸<sup>じょうりく</sup>しました。

...

Pozn.1: Výraz *nanto* (př. ix.) je vytykáací příslovce. Intenzifikuje význam (nečekané) extrémnosti.

Pozn.2: Konstrukce s početními výrazy (číslovka + klasifikátor) a partikulí *mo* jsou podobné konstrukcím s neurčitými „zájmeny“, v nichž na pozici číslovky stojí otázkové slovo. Př.:

- 私は何回<sup>なんかい</sup>も日本へ行ったことがあります。 (srov. s př. i.)
- この辺<sup>あた</sup>りには何軒<sup>なんげん</sup>もタイ料理<sup>りょうり</sup>のレストランがあります。

## 2. Příklady užití vytykáací partikule *šika* - význam „restrikce“

- i. 昨日、30分しか勉強できませんでした。
- ii. 昨日の試験は3割わりしか分らなかった。
- iii. 今日かのじよは彼女と10分でんわしか電話で話せなかった。
- iv. 昨日、忙いそがしすぎて4時間ねしか寝られませんでした。
- v. A: 今夜の飲み会の場所はここから遠いすか?  
B: いいえ、歩いて10分かしかかかりませんよ。
- vi. A: え、富士山ふじさんは夏なつしか登れないんですか。  
B: そうですね。冬ふゆは寒さむいし危あぶないですから。
- vii. シャンプーがもう少すこししかないので、明日あした買ってきてください。
- viii. 夜よるは野菜やさいしか食べないんです。
- ix. 私の英語えいごは挨拶あいさつしかできないレベルです。
- x. このお店みせは予約よやくした人はいしか入れません。
- xi. この農場のうじょうではリンゴりんごしか作つくっていない。だから、従業員じゅうぎょういんは他ほかの果物くだものの栽培さいばいのことをしらない。  
...

## 3. Příklady užití vytykáací partikule *šika* v idiomatické konstrukci

- i. バスもタクシーもないので、歩いて帰かえるしかありません。  
'Autobus ani taxi tu není, tak nezbývá než jít domů pěšky.'
- ii. 冷蔵庫れいぞうこに何もないので、何も食べないか、買かい物ものに行くしかない。  
'V ledniče nic není, takže nezbývá, než buď nic nejíst, nebo jít na nákup.'
- iii. どこをさが探しても家の鍵かぎがないので、諦あきらめるしかない。新しい鍵かぎをつく作ろう。  
'Hledal jsem kde se dalo, ale klíče od domu nikde, takže nezbývá než to vzdát.  
Pořídím si klíče nové.'
- iv. このパソコンは修理しゅうりしても直なおらなかつたら、捨すてるしかありません。  
'Jestli se ten počítač nerozjede ani po opravě, nezbude než ho vyhodit.'
- v. この仕事しごとをする人がいないので、私がやるしかない。  
'Nikdo na tuhle práci tu není, takže to zůstává na mně.'

- vi. もし薬くすりで治なおらなかつたら、手術しゅじゆつしかない。

‘Jestli nezaberou léky, zbude už jen operace.’

Pozn.: V psaném projevu bývá partikule *šika* v této idiomatické konstrukci nahrazována výrazem *hoka*. Např.: 歩あるいて帰かえるほかありません。(srov. př. i.)

#### 4. Příklady užití vytýkáací partikule *dake* – význam „restrikce“

- i. さっき、1時間だけ寝ねました。
- ii. 昨日、30分だけ勉強べんきやうしました。
- iii. このクラスでチェコ人は私だけです。
- iv. 私の休やすみは日曜日だけです。土曜日は仕事しごとがあります。
- v. 私はベジタリアンですから、肉にくは食たべません。野菜やさいだけ食たべます。
- vi. 朝あさは何も食たべません。牛乳ぎゅうにゅうだけ飲のみます。
- vii. この農のうじやう場ではリンゴだけ作つくっている。だから、従業員じゅうぎやういんはリンゴの栽培さいばいのことをよく知しっている。  
...

Pozn.: Srov. př. vii. výše s př. 2/xi.

#### 5. Příklady užití vytýkáací partikule *dake* v idiomatické konstrukci

- i. できるだけ早はやく来きてください。 ‘Přijď jak nejrychleji můžeš.’
- ii. 私の会かいしゃ社では、できるだけ大こえきな声あいきつで挨拶あいさつをするのがルールです。  
‘U nás ve firmě je pravidlem zdravit se co nejhlasitěji.’
- iii. この刺さしみ身はできるだけ早はやく食たべてくださいね。新しんせん鮮な方ほうがおいしいですよ。  
‘Snězte to *sašimi* co nejdříve. Nejlepší je čerstvé.’
- iv. その事じけん件についてできるだけ詳くわしく調しらべて、レポれぽートを書かかなければなり  
ません。  
‘Musím o tom incidentu zjistit co možná nejvíc a potom o něm napsat seminárku.’
- v. 勉べんきやう強のために、日本語の本をできるだけたくさん読よみません。  
‘Za účelem studia čtu tolik japonských knížek, kolik jen jde.’